

決算特別委員会が開催される

一般論ですが、民間企業は株主に向けて損益を明らかにするために決算が重視されます（決算主義）が、国や自治体ではどのような事業に予算を使うのかを重視します（予算主義）。ですから、逆に、予算が有効に使われたのかをチェックすることが重要になります。



議会においてそれを集中して審議するのが決算特別委員会。私は今年度、その委員に選任され、10月10日（木）から11月11日（月）にかけて開催された決算特別委員会において、積極的に発言しました。

※下記は私の質問主旨から抜粋

「特別支援教育施設整備費」【教育委員会】

第3次特別支援教育推進計画として現在進められている事業以降の着工予定（別府市内の特別支援学校など）等が未だ明らかになっていないことに学校関係者・児童生徒・保護者は不安を感じています。現在の進捗状況を質問するとともに、これからの見通しを明らかにするべきではないかと意見を述べました。

「ネットワークコミュニティ推進事業費」【企画振興部】

これ以前の「小規模集落・里のくらし支援事業とくらしの和づくり応援事業」も含めて、各地域の事業の現状を質問。併せて継続が困難になっている事業の原因と対策を尋ねました。

「動物愛護協働推進事業」【生活環境部】

昨春オープンしたおおい動物愛護センターでは猫の譲渡数は増えているものの殺処分数も増えています。これからの取り組みをどのように考えているのかを質問。また、飼い主不明の猫の不妊去勢手術を補助しているのは現在、別府市と竹田市だけですので、拡大していく必要があるのではないかと意見を述べました。

「市町村避難所運営等支援事業」【生活環境部】

昨年10月の台風19号の際、東京都台東区で、住民票がないという理由でホームレスの方が避難所に入れてもらえなかったという事案が報道されました。大分県において同様の事例が起きたことがあるのかを質問。

「国民健康保険基盤安定化事業」【福祉保健部】

国保の財政責任が基礎自治体（市町村）から県に移管されてすでに1年半が経過しましたが、特定健診項目の範囲など当初の課題はどうなったのか、また、「統一保険料の設定」について質問。

「精神科救急医療システム整備事業」【福祉保健部】

委託しているコールセンターの運営状況を質問するとともに、当番医や現在建設中の県病の精神医療センターとの連携について意見を述べました。



「大分県の農業」 を考える

今年度、初めて農林水産委員会に所属し、多くの生産者や関係者の方々にお会いしてお話をお聞きしてきました。

私は正直なところ農林水産業については素人です。ただ、生まれてからずっと農産品の消費者と言えますから、委員会においてはその立場からも質問や発言をしています。

今回、農林水産部の取り組みも紹介しながら、現在の大分県の農業について現状と課題について私の思いを述べます。

大分県の農業の現状と課題

県下各地に仕事をつくりだす農業は、地方創生を進める上で大事な産業であり、その実現に大きな役割を果たしています。しかしながら、本県の産出額はこの10年で伸びておらず、昨年度は九州最下位となりました。

県ではその原因を、「米の消費量が年々縮小していく中、本県の水稲作付け割合は九州で最も高く、マーケットニーズに合った生産構造になっていない」と考え、「水田を畑地化し、米から高収益な園芸品目に転換していくことが、産出額の向上に不可欠である」としています。

※県では、白ねぎだと単位面積あたり米の8倍、いちごでは57倍の販売額が出ると試算

加えて、福岡県のイチゴ（あまおう）、長崎県のミカン・ばれいしょ・イチゴ、熊本県のトマト・ミカン・イチゴといった産出額が100億円を超えるような品目を創り出していくため、大規模な園芸団地の育成が大分県には必要であるとしています。

また、産出額が伸びて

女性によるレタス生産 ～杵築・ウーマンメイク～

女性経営者と女性従業員による水耕ハウス栽培のレタスを生産。農業と子育て中の女性の働く場の創出が一致した取り組みに期待しています。



私のHPIにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

<http://www.ctb.ne.jp/~harada/>

大分県議会議員 原田たかし

検索

